

2015/8

## リサーチ

No.122

通巻  
179

平成27年8月11日

発行者  
北海道公民館協会  
会長 川上 満  
〒060-0002 札幌市中央区北2西7  
かでる2・7 (9F)  
道立生涯学習推進センター内  
011(271)2825



北海道公民館協会 会長 川上 満

みんなで支え合う  
まちづくりをめざして

しへの近道です。

本年度の北海道公民館協会総会において、前松藤会長様の後任として会長に推挙されお引き受けすることになりました。

今日の地方を取り巻く情勢は、極

めて厳しく各地域において多くの課題が山積し、大きな転換期を迎えているだけに身の引き締まるおもいであります。

もとより微力でありますが、北海道公民館協会の活動方針にもあります「地域としっかりとつながっている公民館が元気であれば、その地域も元気になる」ことを基本に誠心誠意努力する覚悟でございますので、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

今まで以上に、北海道各地域が生き生きと元気な町になるためには、地域住民と行政が共に協動する仕組みづくりです。

今求められている地方創生は、中央依存のうち上げではなく地方主体のまちづくりであります。

これから時代は、地方の時代であります。知恵を出す町と出さない町では大きな差が出て来るもとと考えます。そのためにも、これから町づくりは人づくりであり、公民館拠点施設としての役割が益々重要であります。いかに行政依存の町づくりから住民主体の町づくりに脱却するかであり、その町の地域力にかかっています。

本年度から教育制度が大きく改革されました。各首長も教育に密接に関わることとなり、オール北海道の各市町村が連携、協力し、課題解決するためスキルアップしていくことが重要であります。

歩むという字は止まることを少なくすると書きます。

大変という字は大きく変えると書きます。

今後ともチャレンジ精神で難題に立ち向かっていかなければなりません。

さて、現在、マスコミ等で話題になっているのが、日本創生会議、人口減少問題検討分科会より、平成二十六年六月公表された「二千四十年人口推計」によると全国自治体の約半数が「消滅恐れ」という衝撃的な報道がありました。

地域力とは、「防犯や防災、教育、自治など地域が抱える問題課題を住民が感心を持ち、参加し、解決していく総合的な力」のことです。この地域力の向上こそが、元気な町おこ

しへの近道です。  
そこで、自治会をはじめとして住民個人を含め老人クラブ、民生委員、学校、PTA、消防団などの様々なが結集し、地域の課題や将来について話し合い、地域の目的を共有しながら相互に役割分担して、「みんなで支え合うまちづくり」です。

## 「変わる全国公民館研究集会」

公益社団法人全国公民館連合会

会長 石川正夫



北海道のみなさん  
こんにちは！

つい先日、「社

会教育関係者懇親の集い」が東京で開催されました。日頃から連携してい

るテーマは、「教育委員会制度改革」と「地方創生」のふたつです。当日の熱い討議には大きな期待をよせて

います。本号に掲載されている開催要項をお読みいただき、多くのみなさんにご参加いただければ幸いです。

さて、平成二十五年に富良野市で開催され、北海道のみなさんに大変お世話になった「全国公民館研究集会」（以降、「全国大会」）を、来年から大きく改革いたします。これま

で全国大会は昭和二十七年に「全国公民館大会」としてスタートし、時代の移り変わりとともに名称や内容を変更しながら今日に至ります。現

在の全国大会はこれまで毎年一か所で開催してきましたが、これを来年から全国七か所で開催します。時と

じられるほど、多くの参加を得て、有意義な会になつたことをご報告します。

この号が発行される夏を迎えると、

公民館大会の季節が近づいてきたことを実感します。恵庭市で開催される北海道公民館大会は、現状をふまえた上で、北海道公民館協会が、企画立案して準備を進めてきました。

その内容には関係者の情熱を強く感じることができます。また、北海道では北海道以外の地域の参加者が、反対に北海道から別の地域で開催される全国大会に参加をすることができるよう、これまでのブロック別の地域を超えた参加が可能になるよう準備を進めています。

『月刊公民館』、ウェブサイト、イベント開催時のチラシ配布をはじめとした、さまざまな方法で広報しています。全国に多くの仲間がいることを実感していただければ幸いです。もうひとつ改革である「共通分科会の実施」について触れておきます。公民館大会を有意義なものにするためには、公民館活動推進に対する課題を解決することが重要です。この課題は、地域に根ざしたもの、つまり「地域によって異なる課題」へのアプローチがあげられます。同時に、全国の公民館が同様に抱える「普遍的な課題」もあります。その普遍的な課題のひとつが「公民館の存在意義の再確認」です。時代の移り変わりとともに、世の中の「あたりまえ」は変わります。特にここ二十年は顕著です。寺中構想から約七十年たつた今、人間社会の本質は変わらずとも、社会の要請や個人の要望には大きな変化があります。

私たち全国公民館連合会は、これからも各地にある公民館の運営に役立つように、公民館のみなさんが元気に対に職務に臨めるように、日本全国に公民館の応援団員を増やし、「公民館の自己肯定感」を揺るぎないものとして維持し、公民館に携わるすべてのみなさんが自信をもって活動に邁進できるような環境づくりに努めています。



そばにある公民館であつて欲しい」と吉備津氏。「二十年係わっていた社会教育から現在の部署へ教育委員会で培つたことを首長部局で活かす、住民ニーズで求められている事を教育委員会に求め連携し合うことを実感している」と鈴木氏、「前年同様から次年度につながることを考えるようになつた」と大泉氏、それらは社会教育が日頃から、第一線で常に地域の方々とつながつてゐることを認識しているからこそその発言でした。神代氏は、三名の方のお話を引き出す要所で「社会教育はとても重要なネタである。地方創生、まさに社会教育のネタを取り入れるべき」「仕事スタイルとして、上司から言われなくともやることができる職員が不可欠」「現場の裁量性がないよう仕事場から現場の裁量でやることが出来る職場へ」「地方創生のネタとして残っているのは社会教育の文化である」「事業が大きく取り上げられたときはその掲載誌を首長たちに持つていく」等々のお話をされた。午後は参加者からの質問に各パネリストがお答えするスタイルで進めました。事前に配布された質問用紙が十一名の方から提出されました。前任者の事業をこなすだけと言つていが最初は真似をしてよいと思



より総会が進められました。

北海道からは川上会長、矢吹事務

局長、成田事務局次長が出席しました。議案第一号平成二十六年度事業報告及び決算報告については、報告の通り承認されました。

平成二十七年度事業は「絆を紡ぎ、人づくり、地域づくりに貢献する公民館をめざして」を主題として「これから公民館に求められる基本的な方向性や役割」を学び、「それぞれの公民館で創意工夫を凝らした特色ある事業・活動」を推進することが提案されました。

誰もが、ちょっと立ち寄つてみたくなる、魅力ある公民館

自己向上の願いがかない、学びを大事にする公民館

人づくり・地域づくりに貢献できる、リーダーが育つ公民館

人の温かさと心配りが滲み、地域の絆をつくる公民館

社会から公民館に求められているものは、まさに「公民館力」の向上であり、どんな時でも地域の方々にとって必要不可欠の存在となるよう努めることを確認しました。

なお、第三十七回全国公民館研究集会は十月十五日～十六日の二日間、鳥取市で開催されます。また、全国公民館セミナーは平成二十八年一月六日～八日に開催予定です。

合会会長の懸樋勉さんの議事進行に議長に選出された鳥取県公民館連

## 平成二十七年度 「学びによる地域活性化プログラム普及・啓発事業」

当協会では、標記の事業（地方創生コンファレンス）を文部科学省から受託して実施するための準備をおこなっています。この事業は、北海道の取り組み事例や全国の先進的な事例の紹介も含めた研究協議を通じて、持続可能な地域づくりのためのコンファレンスを開催し、地方創生の実現に必要不可欠な地域の自主性・自律的な運営の具体的な方策を探り地方創生の実現に向けた「学び」を通じて地域課題解決に貢献することを目指すために実施するものです。コンファレンスは北海道の広域性から四つの地区で開催しその成果をとりまとめる観点から札幌地区で合同研究の機会を設けます。

（月）に別海町、  
① 釧路・根室地区八月三十一日  
② オホーツク地区、十月三十日  
（金）に北見市  
③ 胆振・日高地区十一月十一日  
④ 上川地区十一月二十七日（金）  
富良野市でそれぞれ開催します。  
札幌地区は平成二十八年一月二十一日（木）の開催を予定しています。各支部、特に開催地の担当の方々には事務手続きはもとより開催要項作成、連絡調整などご負担をおかけしております。

## 公民館の原点を もう一度考える

弟子屈町公民館長  
吉備津 安 夫

### 一、弟子屈町の概要

弟子屈町は、東北海道の中央部に位置し、摩周湖や屈斜路湖、川湯硫黄山など阿寒国立公園の森と湖と火山など豊かな自然を有する観光と酪農や畑作による農業のまちです。人口は、約七八〇〇人で、そのうち六五歳以上が約二七〇〇人と三四%を超えています。人口流出と宿泊客の減少や農業の担い手の高齢化が大きな課題となっています。

### 二、公民館の目的

弟子屈町公民館は、昭和四一年に開設されて以来、四八年を迎える間に、各種文化活動や成人式、結婚祝賀会なども開催されるなど町民の生活・文化を支えてきた歴史ある施設です。その後、昭和六〇年に釧路圏摩周観光文化センターが建設されたことから現在は、町の総合文化祭や成人式などの会場機能はこのセンターに移っています。町財政の悪化や三位一体改革を契機とする行財政改革により、社会教育や公民館などの事業の縮減と組織機構の見直しが行われるとともに、この摩周観光文化センターなど首長部局施設の民間委託・指定管理者制

の導入が進められました。この行財政改革議論の中で公民館はこのセンター同様、貸館業務という見方があつたことから、この苦境を逆手に取り改めて公民館の目的の原点である「つどう」「まなぶ」「むづぶ」を基本に、公民館事業を前進させてきました。

### 三、職員を育てる

特に公民館に初めて配属された職員には、社会教育主事講習を受講させることで公民館が地域で果たすべき役割を習得させるとともに、修了者を公民館主事に登用しています。事業の展開にあたっては、その特徴である「集団で講座を受ける」「学習が地域に還元される」「人を学ぶ客体ではなく、学ぶ主体にする」をモットーに進めています。

また、公民館主事と教委の社会教育主事を兼任させています。これも厳しい現状の中で行つた一つではあります。しかし、社会教育の実践者として公民館が改めて見直されるきっかけとなっています。加えて、社会教育事業と公民館事業を一体的に取り組むことによって、公民館主事を中心に人ととの繋がり、ネットワークが広がっています。この繋がりは、事業の企画立案をするうえで大きな財産となっています。

うござります」など館長、副館長が率先して大きな声で、「あいさつ」を心掛けています。

講座では、「笑いの絶えない楽しい学習」とし、「公民館に行きたくなる」「行かないと気がすまない」そんな公民館事業をテーマに、助けられ、お互い補い、育て合いながら、一歩ずつ取り組んでいます。

### 四、新たな試み

公民館事業の進行管理として、PDCAサイクルを導入し、一事業ごとに計画立案、実行、評価、見直しのうえ、また、計画立案を行うこととしています。このことによつて、事業の目的が明確化され同時に共有されることによつて、評価が同じ価値観で出来ることとなります。そのうえで、新しい取組にチャレンジし、活躍する機会をつくり、そして、適正な評価により、認めてもらうことによって、また、頑張りたい。頑張りますが、社会教育の実践者として

公民館が改めて見直されるきっかけとなっています。加えて、社会教育事業と公民館事業を一体的に取り組むことによって、公民館主事を中心に人ととの繋がり、ネットワークが広がっています。この繋がりは、事業の企画立案をするうえで大きな財産となっています。

披露が出来ることを願っています。また、今年は、新たに公民館祭りを企画し、「生きがい講座」の高齢者の知識と経験を生かした小学生との世代間交流を実施したところです。「遊ぼう！学ぼう！楽しもう！」をキヤツチフレーズにゲームや昔遊び、茶道体験などによる交流を深めました。「子どもたちと遊ぶのは、昔を思い出して楽しかった。来年も続ければいい」と笑顔を見せています。

「生きがい講座」の皆さんのご協力を感謝するとともに、皆さんと協働し地域を前進させる、まちづくりを進める、新たな試みに取り組んだ職員の姿勢を高く評価し認めることが、さらに一步前にふみだす力となつてきます。

### 五、目指すこと

すすむ人口流出・少子、高齢化の時代の中で、安心して子育てができる地域に次代の担い手が育つこと、老後においても安心して暮らせる環境をつくること、さらには、生業を創出することこそが地方創生の柱だと思います。このような時代にこそ公民館の持つ力、人と人とのつながり、相談があり、公民館としても何とか出来ないかと考え、当面メンバーがそろうまで、職員が参加することになりました。長期間休止していた郷土芸能の復活には、自ら踊る、囃子をするなど、同じ汗を流し、同じ気持ちになる、同じ苦労をする。大切なることだと思っています。来年は初

披露が出来ることを願っています。また、今年は、新たに公民館祭りを企画し、「生きがい講座」の高齢者の知識と経験を生かした小学生との世代間交流を実施したところです。「遊ぼう！学ぼう！楽しもう！」をキヤツチフレーズにゲームや昔遊び、茶道体験などによる交流を深めました。「子どもたちと遊ぶのは、昔を思い出して楽しかった。来年も続ければいい」と笑顔を見せています。

「生きがい講座」の皆さんのご協力を感謝するとともに、皆さんと協働し地域を前進させる、まちづくりを進める、新たな試みに取り組んだ職員の姿勢を高く評価し認めることが、さらに一步前にふみだす力となつてきます。

### 五、目指すこと

すすむ人口流出・少子、高齢化の時代の中で、安心して子育てができる地域に次代の担い手が育つこと、老後においても安心して暮らせる環境をつくること、さらには、生業を創出することこそが地方創生の柱だと

思います。このような時代にこそ公民館の持つ力、人と人とのつながり、相談があり、公民館としても何とか出来ないかと考え、当面メンバーがそろうまで、職員が参加することになりました。長期間休止していた郷土芸能の復活には、自ら踊る、囃子をするなど、同じ汗を流し、同じ気持

ちになる、同じ苦労をする。大切なることだと思っています。来年は初

披露が出来ることを願っています。また、今年は、新たに公民館祭りを企画し、「生きがい講座」の高齢者の知識と経験を生かした小学生との世代間交流を実施したところです。「遊ぼう！学ぼう！楽しもう！」をキヤツチフレーズにゲームや昔遊び、茶道体験などによる交流を深めました。「子どもたちと遊ぶのは、昔を

思い出して楽しかった。来年も続ければいい」と笑顔を見せています。

「生きがい講座」の皆さんのご協力を感謝するとともに、皆さんと協働し地域を前進させる、まちづくりを進める、新たな試みに取り組んだ職員の姿勢を高く評価し認めることが、さらに一步前にふみだす力となつてきます。

### 五、目指すこと

すすむ人口流出・少子、高齢化の時代の中で、安心して子育てができる地域に次代の担い手が育つこと、老後においても安心して暮らせる環境をつくること、さらには、生業を創出することこそが地方創生の柱だと

思います。このような時代にこそ公民館の持つ力、人と人とのつながり、相談があり、公民館としても何とか出来ないかと考え、当面メンバーがそろうまで、職員が参加することになりました。長期間休止していた郷土芸能の復活には、自ら踊る、囃子をするなど、同じ汗を流し、同じ気持

ちになる、同じ苦労をする。大切なることだと思っています。来年は初

# 平成27年度に実施する主な活動

(写真は前年度以前のもの)



文部科学省社会教育課長の講演



パネルディスカッション



東京国立博物館長の講演

## リサーチ

毎年2回発行(夏と冬)

全道の加盟市町村に情報提供

全国にも北海道の取り組みを発信

## 講師名簿の作成による研修会等実施支援

### 全道公民館職員研修会

平成27年7月3日(金)

開催地: 札幌市

### 第59回北海道公民館大会

平成27年10月1日(木)~2日(金)

開催地: 恵庭市

## 地域力活性化コンファレンス事業の実施(文部科学省)

### 地域力活性化コンファレンス事業

平成27年10月30日(金)

開催地: 北見市(オホーツク地区)

### 地域力活性化コンファレンス事業

平成27年8月31日(月)

開催地: 別海町(釧路・根室地区)

### 地域力活性化コンファレンス事業

平成27年11月27日(金)

開催地: 富良野市(上川地区)

### 地域力活性化コンファレンス事業

平成27年11月11日(水)

開催地: 安平町(胆振・日高地区)

## プレゼン発表会(札幌市)※平成28年1月を予定



当協会会长あいさつ



左から文部科学省社会教育課長補佐、教育支援協会代表理事、  
新居浜市市民部長、当協会事務局長

## 道教香通信

**家庭教育に関する  
学びのセーフティネットの構築  
を目指して**

北海道では、全国を上回るスピードで少子化・人口減少が進んでおり、社会構造の変化に伴って、教育をめぐる課題も複雑化・多様化していきます。

そうした中、平成二十五年度に実施された道民意識調査によると、家庭の教育力が「備わっている」との回答は四割程度となつており、多くの道民は「全ての教育の出発点」としての家庭の役割が十分果たされていないという印象を持っていることがわかります。

このような背景を受け、道教委では、平成二十五・二十六年度に「北海道親力つむぎ事業」を実施し、様々な場面を活用して家庭教育に関する学習機会を提供し、子どもの発達段階に応じた親子の関わり方を学んでもらうとともに、地域全体で子育てを支援する気運を高めるためのキャンペーンを開催してきました。本事業により、保護者に対しても様々なアプローチ手法を創出したこと

ができたという成果が得られる一方、課題として、様々な理由により、学びの場に参加できない保護者をサポートする必要性が明らかとなりました。

と同時に、同事業の取組の様子から、

① 保護者が気軽に集まって話ができる座談会のような形であれば、

② 保護者同士の話し合いを進めているような存在がいると、学び

が深まりやすい

という二点が、課題解決に向けたポイントであることも明らかとなりました。

そこで、今年度から道教委では、家庭教育支援の推進方策として、保護者が集まりやすい機会や場所の活用、地域における身近な人間関係の活用を図るために、「地域人材による家庭教育支援推進事業」・「家庭教育『学びカフェ』推進事業」(以下、「家庭教육『学びカフェ』事業」という)を進めています。

具体的には、

- ① 地域で気軽に家庭教育や子育てに関する学びや相談が促進されるよう、保護者の身近な人間関係の中でコミュニケーションのノウハウや家庭教育に関する知識を持つ

た「家庭教育ナビゲーター」を育成すること

② 保護者の集まりやすい機会を活用し、座談会形式を中心とした相

互学習の場「家庭教育『学びカフェ』」を創出すること

とりわけ、家庭教育ナビゲーターの育成については、道教委が様々な方からのアドバイスをいただきながらテキストを作成し、市町村において養成研修を行っていきます。

家庭教育ナビゲーターが地域の様々な場面で活躍することで、これまで行政やNPO等が提供してきた講座や学習会等に参加できなかつた保護者も含めて、全ての保護者が日常的に家庭教育や子育ての学習や相談が可能になる体制「家庭教育に関する学びのセーフティネット」が構築できるものと考えております。

○生涯学習推進専門講座  
・道央会場(俱知安町)  
十一月十二日(木)～十三日(金)

後志教育研修センター  
・道南会場(乙部町)  
十月二十三日(金)

乙部町民会館  
・道北会場(稚内市)  
十月八日(木)

宗谷振興局内会議室等  
※道東会場(釧路市)は七月九日終了

## 事業のご案内

○生涯学習基本講座  
趣旨

人づくりと地域づくりに資する生涯学習を推進するための体制整備としての計画策定・評価及び事業企画について理解を深める。

地域住民の最も身近な学びの場として重要な役割を果たしている公民館においても、この家庭教育『学びカフェ』事業が広く普及していくよう御協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

○生涯学習推進専門講座  
趣旨

人づくりと地域づくりに資する生涯学習を推進するための体制整備としての計画策定・評価及び事業企画に関する専門的な知識や技術などについて理解を深める。

日時・会場  
十一月五日(木)～六日(金)

道立道民活動センター(ビル)

(文責 生涯学習推進局生涯学習課)  
中でコミュニケーションのノウハウや家庭教育に関する知識を持つ

## 平成27年度 北海道公民館協会役員一覧

役職	支部	氏名	市町村名	職名	役職	支部	氏名	市町村名	職名
会長	日高	川上 満	平取町	町長	理事	渡島	佐々木昌子	鹿部町	生涯学習課長
副会長	上川	倉澤 宏	名寄市	公民館館長	理事	釧根	谷口 博之	根室市	社会教育課長
副会長兼務	後志	飯田 憲司	真狩村	教育長	理事	胆振	武永 真	白老町	教育課長
副会長兼務	胆振	及川秀一郎	安平町	教育次長	理事	上川	鳥毛 昭士	東神楽町	地域の元気づくり課長
副会長	釧・根	太田 融	釧路市	生涯学習課部次長	理事	オホーツク	吉村 学	網走市	社会教育課長
常任理事	上川	稻葉 武則	富良野市	社会教育課長	理事	釧根	竹が原浩司	白糠町	生涯学習課長
常任理事	渡島	田中 健一	知内町	教育長	監事	後志	大島 曜	俱知安町	公民館館長
常任理事	オホーツク	相澤 秀雄	紋別市	公民館館長	監事	上川	阿部 孝次	旭川市	公民館事業課長

## 平成27年度 北海道公民館協会支部事務局所在地

支 部	郵便番号	所 在 地	名 称	電 話 番 号
後 志	048-1611	真狩村光4-1	真狩村教育委員会教育長	0136-45-3336
胆 振	059-1971	安平町追分縁が丘200-2	安平町教育委員会教育次長	0145-25-2083
渡 島	049-1103	知内町重内21-1	知内町中央公民館	0139-25-6855
上 川	076-0018	富良野市弥生町1-2	富良野市中央公民館	0167-39-2318
オホーツク	094-0006	紋別市潮見町1-4-3	紋別市中央公民館	0158-24-2270
釧 根	093-0051	釧路市錦町2丁目4	釧路市教育委員会生涯学習部次長	0154-31-4579

## 平成27年度 北海道公民館協会加盟市町村名

支 部	市町村名	支 部	市町村名
後 志 3町3村	寿都町 真狩村 泊村 留寿都村 余市町 俱知安町		旭川市 士別市 名寄市 富良野市 東神楽町 上富良野町 美瑛町
渡島檜山 7町	鹿部町 知内町 八雲町 松前町 森町 七飯町 奥尻町	上川 4市17町 2村	中富良野町 占冠村 南富良野町 東川町 鷹栖町 愛別町 上川町 当麻町 比布町 和寒町 剣淵町 下川町 美深町 中川町 音威子府村 嘴加内町
胆 振 5町	豊浦町 白老町 厚真町 壯瞥町 安平町		※支部はないが直接加盟している市町村 浦幌町、中札内村 利尻富士町 新ひだか町 新冠町 札幌市 恵庭市 千歳市 栗山町 奈井江町 苫前町 平取町
釧 路 根 室 2市10町 1村	釧路市 釧路町 白糠町 浜中町 標茶町 弟子屈町 鶴居村 厚岸町 根室市 別海町 標津町 羅臼町		※加盟市町村数73 (12市54町7村) 4月末現在
網 走 3市4町	網走市 北見市 紋別市 遠軽町 斜里町 訓子府町 置戸町		

## ◆北海道公民館協会所在地

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目

北海道立生涯学習推進センター（通称：かでる2・7） 9階

TEL・FAX 011-271-2825 VOIPTEL 050-3338-4370

dou-kouminkan@crocus.ocn.ne.jp

## ◆社団法人全国公民館連合会所在地

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-16-2 飯島ビル3階

TEL 03-3501-9666 FAX 03-3501-3481